

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	36537
事業名	生物多様性推進費					
評価担当課	所 属	環)環境都市推 環境対策課			電話番号	011-211-2879
施策名	生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託			○ 補助・助成	○ その他	

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	生物多様性豊かな自然は、水や食料、エネルギーなどの恵みをもたらし私たちの暮らしを支えているが、近年急速に失われつつある。我が国及び諸外国では、現在進行している生物多様性の損失を食い止め、回復軌道に乗せるための「2030年ネイチャーポジティブ(自然再興)」という目標を定めており、札幌市もこの目標達成に貢献するため生物多様性さっぽろビジョンを改定し、生物多様性の普及啓発、生物多様性に配慮した行動の促進、自然環境の調査と保全、外来種の防除等について新たな目標を定めた。 また、野生生物とのあつれきを減らすため、エゾシカ個体数管理に向けた調査を行う等、野生鳥獣と適切な距離を保ち共生するための施策も実施している。
	事業内容(何を実施し)	2030年ネイチャーポジティブの実現に貢献するため、「生物多様性さっぽろビジョン」の改定を行い、生物多様性保全の施策を進める。 ①生物多様性さっぽろビジョン改定 令和6年3月31日にビジョン改定 ②普及啓発事業: 生物多様性活動拠点ネットワーク連携事業 オンラインクイズラリーを開催、390名参加 夏の特別企画展「STOP気候変動～守ろう動物たちのすむところ～」、学習プログラム57名、ウェビナー69名参加 ③動植物調査及びデータ管理: 市民参加型調査「さっぽろ生き物さがし2023」1,750名参加 ④外来種対策:アズマヒキガエル捕獲事業 3373個体を防除 ウチダザリガニ状況調査 713個体を防除 ⑤エゾシカ市街地侵入抑制:87頭を捕獲
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	本事業により生物多様性への理解を深め、ひとりひとりが生物多様性に配慮した行動の実践につなげることで、2030年ネイチャーポジティブの実現に向けて貢献していく。
	他都市の状況	47都道府県、名古屋市、神戸市、新潟市等の168市区町村(令和6年3月末現在)が地域戦略を策定し生物多様性保全へ向けた取組を推進している(令和6年版環境・循環型社会・生物多様性白書)。
	市民参加の実施	☒ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	18,282 千円	うち特定財源	3,163 千円	正規職員業務量	2.2 人工
令和5年度予算額	25,000 千円	うち特定財源	2,000 千円	正規職員業務量	2.15 人工
令和5年度決算額	23,671 千円	うち特定財源	3,975 千円	正規職員業務量	2.15 人工
令和6年度予算額	32,000 千円	うち特定財源	2,403 千円	正規職員業務量	2.15 人工

指標	アウトプット活動指標1	普及啓発事業及び動植物調査に参加する市民の数(人)			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		2,421	2,500	2,266	2,430	2500	-
	↓						
	アウトカム成果指標1	生物多様性の認知度(%)			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		64	66	71	73	75	77
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	認知度の増加に必要な各事業への市民参加者を増加させるために、今後は他部署や事業者等と連携した事業の開催を目指す。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	2023年から新設された特定外来生物防除に関する国庫交付金を活用し、ウチダザリガニの防除を行う予定である。
来年度以降の方向性	札幌市版レッドリストの改定に向けた検討を行うほか、普及啓発事業の実施内容について見直しを行い、新たに自然共生サイト認定など地域で健全な生物多様性を保全しようとする取組を支援する。